

地域リーダー育成プロジェクト事業  
「高校生と地域の育ち合いプログラム」報告書

**第1回 「市長の話聴いてみよう」**

日 時: 令和2年9月 26 日(土) 13:30~16:30

会 場: ミルキーウェイスクエア

参 加 者: 榛原高校(25名)/相良高校(9名)/市職員等(8名) 合計 42名

— 内 容 —

- ①アイスブレイク
- ②「地域リーダー育成プロジェクト事業」の目的、内容の説明
- ③マインドマップを使って自己紹介  
自分の興味や関心をマインドマップで表現し、自分自身を見つめました。
- ④牧之原市長講話「牧之原市のまちづくり」  
市長から、牧之原市の現状、課題、取り組みを聴きました。
- ⑤ミルキーウェイスクエア オーナーからのメッセージ
- ⑥グループワーク「感じたこと、気づきを話してみよう&掘り下げよう」  
マインドマップに牧之原市のことを加えてグループ内で共有しました。
- ⑦グループワーク「あなたが市長だったらやってみたい取り組みはなんですか」

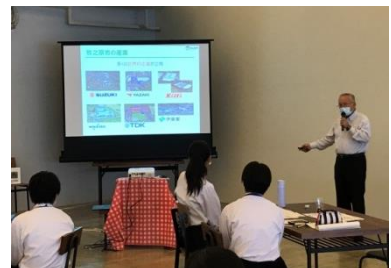
— 今回のポイント —

マインドマップを作成して自分自身を見つめ直したり、市長講話を聴き、牧之原市を知ることを目的に実施しました。

参加した高校生からは、「市長の話で牧之原市のことを詳しく知れた。」「地域について考えるようになった。」という感想があり、自分の住んでいる地域について改めて考える機会になりました。



<市民ファシリテーターCLIPによるグラフィック>



<市長から牧之原市の取り組みを紹介>



<マインドマップをグループ内で共有>

地域リーダー育成プロジェクト事業  
「高校生と地域の育ち合いプログラム」報告書

第2回 「考えたいテーマを決めよう」

日時: 令和2年 10月 28日(水) 16:30~18:30

会場: 牧之原市総合健康福祉センター さざんか

参加者: 榛原高校(24名)/相良高校(18名)/市職員等(26名) 合計 68名

— 内 容 —

①高校生×大人 対話の場

市役所職員から市の取り組みや気になることを聞き、自分自身が関心のあることについて考えました。自分の興味と市の取り組みを掛け合わせた関心事を書き出しました。

②グループ作り

自分の関心を他の人と共有しながら、今後一緒に探究していきたい仲間とグループ作りをしました。

③テーマ決め

グループごと、取り組んでいくテーマを決め、取り組みたい理由や次に進むために必要なことについて考えました。

— 今回のポイント —

市役所職員の話聞いて、今後自分が考えていきたいことについて考えました。今後一緒に探究していきたい仲間とグループを組み、13のテーマが生まれました。

参加した高校生からは、「普段聞くことができないことを知れた。」「年齢層の違う人と解決策を練ることは珍しい体験だった。」という感想がありました。



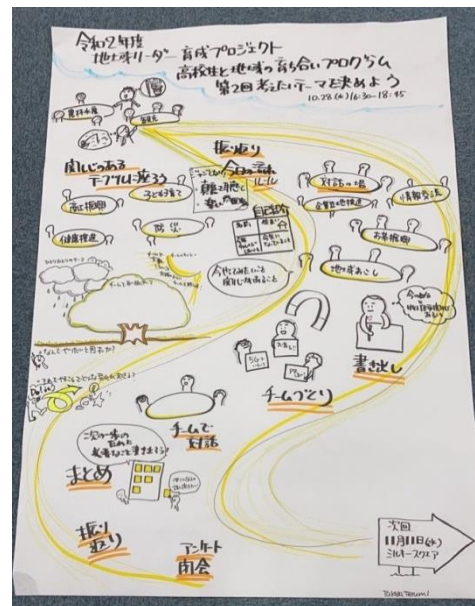
<グループで自己紹介>



<大人と一緒に考えます>



<会場の様子>



<市民ファシリテーターCLIPによるグラフィック>

地域リーダー育成プロジェクト事業  
「高校生と地域の育ち合いプログラム」報告書

第3回 「テーマについて理解を深めよう」

日 時:令和2年 11 月 11 日(水) 16:30~18:30

会 場:ミルキーウェイクエア

参 加 者:榛原高校(26 名)/相良高校(17 名)/市職員等(16 名) 合計 59 名

— 内 容 —

①「やったー！」の紹介 (CLIP 絹村さん)

平成 30 年度のテーマの1つである「LINE スタンプの作成」が今年度実施され、完成しました。

②対話の時間

グループごと、テーマについて具体的に深めました。

なぜやりたいのかをグループに合ったハーベストシートを使って考える、実食して考える等、さまざまな方法で進めました。

また、テーマを実行するために自分自身は何が出来るのかを考え、〇〇について調べてみる、聞いてみる、考えてくるなどの役割分担をしました。

— 今回のポイント —

グループごと決めたテーマを探究し、実行に近づけました。

参加した高校生からは「試食したことで何を作りたいか決めることが出来た。」「市外の人に PR するためには“牧之原市”以外のキーワードが必要」という意見や感想がありました。



<大人にインタビュー>



<感想発表>



<牧之原の農産物を試食>



<プロジェクトの検討>



<市民ファシリテーターCLIPによるグラフィック>



地域リーダー育成プロジェクト事業  
「高校生と地域の育ち合いプログラム」報告書

**第4回 「考えたことを言葉にしてみよう」**

日 時:令和2年12月11日(金) 16:00~19:00

会 場:牧之原市役所 榛原庁舎 会議室

参 加 者:榛原高校(25名)/相良高校(15名)/市職員(15名) 合計55名

— 内 容 —

①ミニ講話：活動のためのヒント (CLIP 絹村さん)

実行は難しい、でも自分達に何ができるかを「自分事」の視点で考えましょう。

②グループごとの活動

自分たちで時間の使い方を考え、チームで協力して活動しました。

- ・自分たちで考えたレシピの試作
- ・テーマに関する団体へ電話での問い合わせ、詳しい人へのインタビュー
- ・牧之原市の地図、ホワイトボードや空き箱を使ったプロジェクトの深堀活動

③KPT(やった、やってる、やろう)

出来たこと、進めていること、これからやることをグループで出し合い、共有しました。

— 今回のポイント —

それぞれのテーマに向かって、インタビューや他グループとのコラボなどの積極的な活動が行われました。前回から今回までの間に行ってきた調査や取り組みで、よりスムーズな話し合いとなりました。

高校生からは「プロジェクトの計画がかなり進んできた」「食材の組み合わせを変えるだけで全く違う味になって驚いた。」といった声がありました。



<チームで考えたレシピの試作>



<インタビュー>



<地図の活用>



<市民ファシリテーターCLIPによるグラフィック>

地域リーダー育成プロジェクト事業  
「高校生と地域の育ち合いプログラム」報告書

**第5回 「内容や伝え方を整理しよう」**

日 時: 令和3年1月20日(水) 16:30~18:00

会 場: 榛原文化センター会議室

参 加 者: 榛原高校(24名)/相良高校(15名)/市職員(10名) 合計49名

— 内 容 —

①グループごとの活動

これまでの振り返りや、発表内容の相談をしながら、3月の報告会に向けて活動しました。紙芝居やパワーポイントの作成等、グループごと発表準備を進めました。

料理関係のグループは、自分達で考えたレシピで作った料理を、杉本市長に試食してもらい、インタビューを行いました。

②報告会についてのレクチャー(CLIP 武田さん、絹村さん)

発表の方法や伝えるべき内容について学びました。

自分達の思いや、これまでの活動、「やったー、やってる、やろう」が最も伝わる方法で発表を心がけました。

— 今回のポイント —

報告会に向けて、それぞれのテーマのまとめや振り返りをしました。発表プロセスシートを使用して、企画立案までの流れやチームの思いを整理しました。地図や写真の使用、紙芝居など、チームに合った発表方法を考え、準備を進めました。



<チームでの話し合い>



<市長への試食、インタビュー>



<考案したレシピが入ったお弁当>

地域リーダー育成プロジェクト事業  
「高校生と地域の育ち合いプログラム」報告書

**第6回 活動報告会**

日 時:令和3年3月13日(土) 13:30~16:30

会 場:坂部区民センター

参 加 者:榛原高校(25名)/相良高校(13名)/市職員等(20名) 合計 58名

— 内 容 —

①1年間の活動内容の紹介

②グループ発表

13グループがステージ上でプロジェクトについて発表しました。

③感想の共有

発表に対する感想を、大人も交えて共有しました。

④市長、副市長、教育長からの講評

⑤グループワーク

「地域リーダーを通してどんな力があると気付いたか。」について対話をしました。

⑥市長講評

今回のポイント

これまでの取り組みを振り返り、次の行動へ繋げる場となりました。

プロジェクトを通して、高校生からは「若者として何ができるのかを考えるきっかけとなった。」「自分から発言すること、チームで話し合うことなどのコミュニケーション力がついた。」といった声がありました。



<各グループの発表の様子>



<グループワーク>



<感想の共有>



<市長講評>